

2007（平成19）年5月28日 月曜日

各 位

株式会社カナモト
 (9678 東証第1部 札証)
 取締役執行役員経理部長 卯辰 伸人
 <資料に関するお問合せ先>
 社長室 広報担当課長 高山 雄一
 電話:011-209-1631

業績予想の修正に関するお知らせ

建機レンタルのカナモト(代表取締役社長:金本 寛中 本社:札幌市)は、最近の業績動向を踏まえ、平成18年12月8日の決算発表で公表した業績予想を、下記のとおり修正することとなりましたので、お知らせいたします。

記

米国会計基準採用の有無:無

(業績の金額の単位:百万円)

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成19年10月期 中間連結業績予想数値の修正(平成18年11月1日～平成19年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表値 (A)	35,530	2,940	2,870	1,830	60.28円
今回修正予想 (B)	36,230	3,430	3,420	2,380	72.44円
増減額 (B-A)	700	490	550	550	—
増減率 (%)	2.0%	16.7%	19.2%	30.1%	—
前期実績 (平成18年10月期中間期)	34,520	2,873	2,801	1,048	35.12円

(2) 平成19年10月期 通期連結業績予想数値の修正(平成18年11月1日～平成19年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表値 (A)	68,570	4,230	4,020	2,360	71.82円
今回修正予想 (B)	68,700	4,600	4,700	2,400	73.05円
増減額 (B-A)	130	370	680	40	—
増減率 (%)	0.2%	8.7%	16.9%	1.7%	—
前期実績 (平成18年10月期通期)	68,023	4,068	3,788	1,742	57.41円

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 平成19年10月期 中間個別業績予想数値の修正(平成18年11月1日～平成19年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表値 (A)	32,010	2,610	2,700	1,770	58.31円
今回修正予想 (B)	32,440	3,070	3,190	2,320	70.61円
増減額 (B-A)	430	460	490	550	—
増減率 (%)	1.3%	17.6%	18.1%	31.1%	—
前期実績 (平成18年10月期中間期)	30,764	2,496	2,569	955	31.99円

(2) 平成19年10月期 通期個別業績予想数値の修正(平成18年11月1日～平成19年10月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表値 (A)	61,540	3,900	4,000	2,410	73.34円
今回修正予想 (B)	62,000	4,300	4,700	3,000	91.31円
増減額 (B-A)	460	400	700	590	—
増減率 (%)	0.7%	10.3%	17.5%	24.5%	—
前期実績 (平成18年10月期通期)	60,753	3,715	3,739	1,720	56.67円

3. 修正の理由

収入面につきましては、公共事業の削減が続くという見通しから民需掘り起こしに鋭意努力した結果、本州地区の売上は計画通りに推移、加えて、北海道地区ではきめ細かい営業展開が功を奏し前年同期比を大きく上回るなど全国的に増収基調で推移し、当初の中間予想を上回る見通しとなりました。

一方、利益面につきましては、前期から具現化著しい長期経営計画の施策の効果が継続できたことから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初予想を上回る見通しです。

なお、下期においては、参院選の影響から工事着工の遅れが予想されるなど、当社グループを取り巻く経営環境は変わらず厳しいものがあります。特に当社連結子会社は規模が小さく、且つ、地方だけで事業展開しておりますので、これらの影響をまともに受けやすいと思われれます。よって、通期業績予想につきましては、極めて保守的な範疇の修正にとどめております。

以上